

# BroadWorks ASでのFieldIdMappingの設定

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、BroadWorks Application Server(AS)によって作成されたCDR（呼詳細レコード）からフィールドを無効にするために実行するアクションについて説明します。

## 前提条件

### 要件

- 基本的なASの知識
- BW bwcliの基礎知識

## 使用するコンポーネント

- Cisco BWのAS

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

ASに新しい機能が導入されると、アカウンティングおよび課金に使用される新しいCDRフィールドの導入が必要になる場合があります。

これにより、新しいフィールドを理解または認識できないため、一部の仲介システムがCDRを拒否したり、エラーまたはアラームをスローしたりする可能性があります。

この問題は、BroadWorks(BW)ASのパッチ適用（リリース24まで）またはアップグレード（リリース25から）後に発生することがよくあります。どちらも新機能を導入する可能性のあるアクションだからです。

## 解決方法

この問題のソリューションは、ASがCDRの新しいフィールドに入力しないように、フィールドを無効にすることです。

これを実行するには、AS\_CLI/Interface/Accounting/FieldIdMapping に移動し、getコマンドを実行して現在のフィールド設定を表示します（簡略化するため出力の一部を表示します）。

```
AS_CLI> cd /Interface/Accounting/FieldIdMapping
AS_CLI/Interface/Accounting/FieldIdMapping> get
Internal Id  External Id          Description
=====
...
473        473          stirShaken.attestationLevel
474        474          stirShaken.origUUID
475        475          publicNetworkAddress
476        476          visitedNetworkId
477        477          groupCallQueuePut.invocationTime
...
...
```

仲介システムのエラーから、問題の原因がField 475 publicNetworkAddressであることを既に特定しました。

このフィールドを無効にするには、次の例のように、clearコマンドを実行します。

```
AS_CLI/Interface/Accounting/FieldIdMapping> clear 475 externalId
A restart is required for the change to take effect.
```

getをもう一度実行して、変更を確認します。

```
AS_CLI> cd /Interface/Accounting/FieldIdMapping
AS_CLI/Interface/Accounting/FieldIdMapping> get
Internal Id  External Id          Description
=====
...
473        473          stirShaken.attestationLevel
474        474          stirShaken.origUUID
475
476        476          visitedNetworkId
477        477          groupCallQueuePut.invocationTime
...
...
```

フィールド475の外部IDが空白になっているため、ASはCDRにそのIDを取り込みません。

このフィールドはまだ存在し、新機能が追加されるとCDRのフィールド数が増加する可能性があることに注意してください。仲介システムでは、余分なフィールドを破棄するか、新しいフィールドを反映するように更新する必要があります。

また、clearコマンドを実行した後のbwcliの警告のように、変更を有効にするにはBWプロセスを再起動する必要があることに注意してください。

これを行うには、AS bwcliからbwadminとして次のコマンドを実行します。

```
bwadmin@AS01$ restartbw
```

BWプロセスの再起動は、必ずメンテナンス時間帯に行う必要があります。

BW ASアカウンティングとCDRの詳細については、[Cisco BroadWorks Accounting Call Detail Record Interface Specification](#)を確認してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。